

第二十三回句会 俳句

【高点句】

- ☆朝顔や蔓のひねりのG難度 〈莫院〉
☆涼新た星霜を経し能舞台 〈明美〉
☆シヤクシヤクと食らう西瓜やりオ五輪 〈安津子〉
☆S M A P 解散ただひたすらに西瓜食ふ 〈千恵〉

【各自一句】

- ・秋の蝶見え隠れして風くぐる 〈奈美〉
・蛸や裏窓にシャンプー香る 〈安津子〉
・老いを背に重ねて帰路の酔芙蓉 〈千恵〉
・牽牛花名残に雨のかかりけり 〈きさ〉
・木登りの熊の爪痕山ぶどう 〈青蛙〉
・蛸や人語を拒む光堂 〈明美〉
・朝顔の水滴ひとつ雨上がり 〈撫子〉
・包丁のよけた西瓜の種三つ 〈莫院〉
・長生きの途中蛸聞いてをり 〈眞澄〉
・ひぐらし宿題意味のまつまりなど嫌ひ 〈文香〉
・海の日を海無き郷に祝ひけり 〈一馬〉
・豪快に西瓜食べたし人目あり 〈童心〉

*以上、36句(3句ずつ12名)より、選句は13名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句(同点の句がある場合は、第三位の句迄)

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による(得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載)